

経営比較分析表（令和6年度決算）

神奈川県横浜市 市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	自治体職員 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	34	対象	ド透Ⅰ未訓ガ	救臨が感災地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
3,753,398	79,612	非該当	非該当	7：1

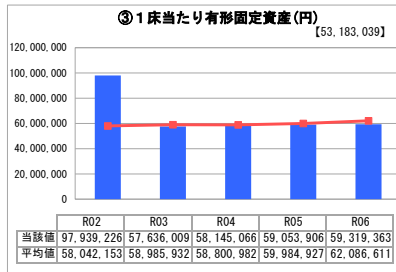
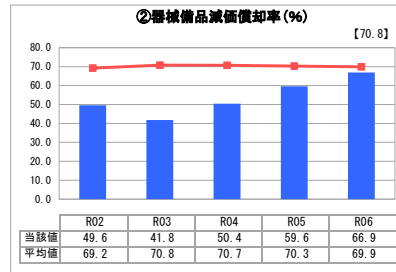
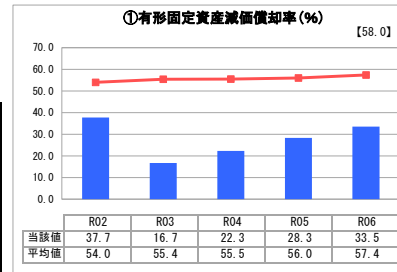
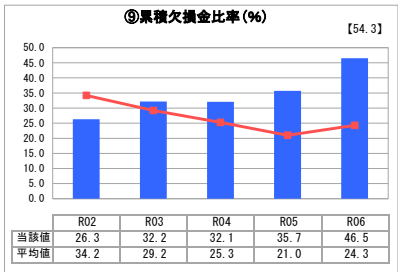
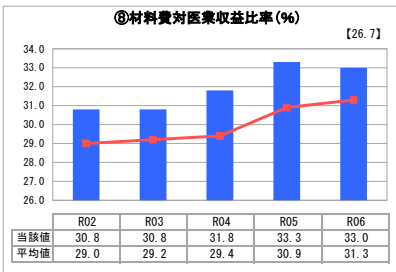
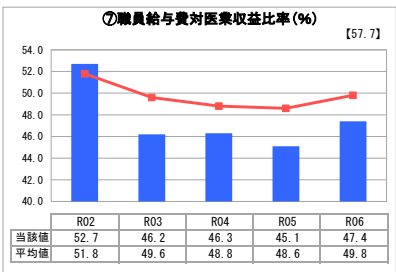
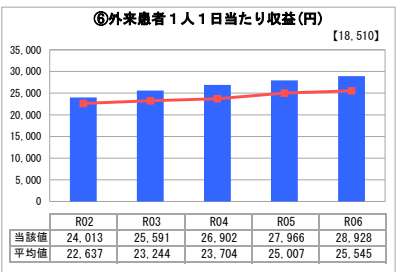
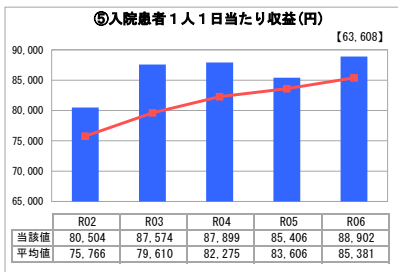
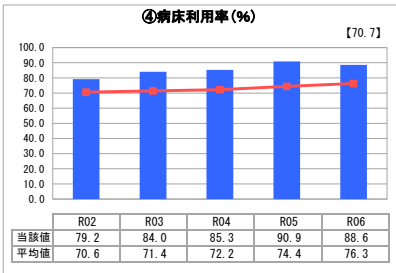
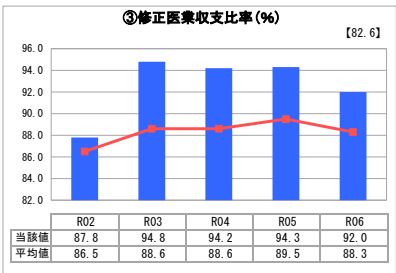
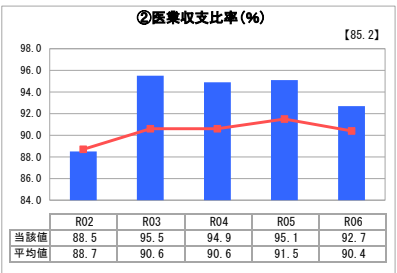
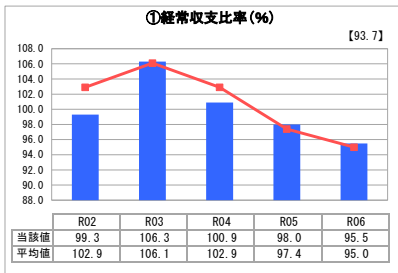
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 Ⅰ…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 ヘ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
624	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	26	650
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
624	-	624

グラフ凡例		
■	当該病院値（当該値）	
—	類似病院平均値（平均値）	
【	令和6年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 （従来の関係・ネットワークをききむ）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

高度急性性期を中心とした総合病院であり、「がん」「救急」「周産期」「感染症」「災害医療」等、地域から必要とされる政策的医療等に積極的に取り組み、地域の基幹病院としての役割を果たします。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

入院・外来の診療単価が向上したものの、新規入院患者数が横ばいとなるなど、入院収益は+2.1億円、外来収益は+0.4億円となりました。一方で、賃金水準や物価の上昇に伴う給与費や委託料、修繕費等の増加により、費用が11億円増加した結果、経常収支は15.1億円の赤字となりました。

引き続き、地域連携の推進等による新規入院患者の受入、平均在院日数の短縮や手術件数の増加など、経営収支黒字化に向けた取組を進めます。

また、「⑤入院患者1人1日当たり収益」や「⑥外来患者1人1日当たり収益」といった収益指標では、平均を上回るなど一定の収益力が認められるにも関わらず、「⑧材料費対医業収益比率」が示すように、収益に対し費用が大きいことが経常収支の悪化につながっていると考えられる。

2. 老朽化の状況について

令和2年5月の新病院開院に伴い、多くの施設設備が一新されましたが、開院から5年以上が経過し、新たに更新が必要な機器も見受けられる状況です。

今後も適切な修繕計画に基づき、設備の更新等を実施していきます。

全体総括

引き続き、経営改善に取り組んだものの、賃金水準の上昇や物価高騰の影響が大きく、経常収支は赤字となる厳しい決算となりました。

今後も安全で良質な医療の提供を行うとともに、地域医療機関との連携を進めるなど新規入院患者を確保し、収益力の向上に取り組めます。

また、適切な病床構成の検討を実施するなど、経費の適正化を図ること等により、持続可能な経営を確保します。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和6年度決算）

神奈川県横浜市 脳卒中・神経脊髄センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	自治体職員 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	10	対象	ドI 訓	救 臨
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
3,753,398	38,737	非該当	非該当	10：1

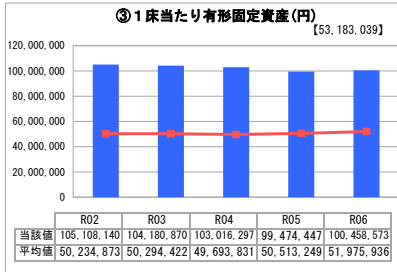
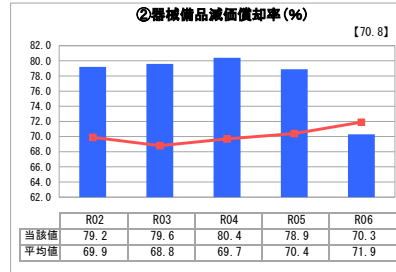
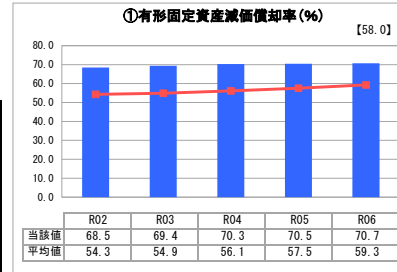
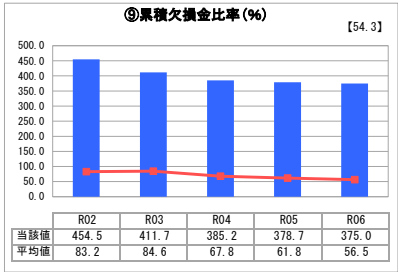
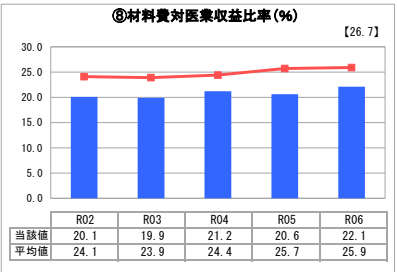
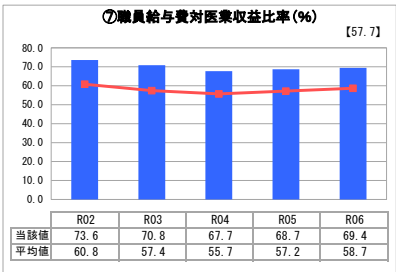
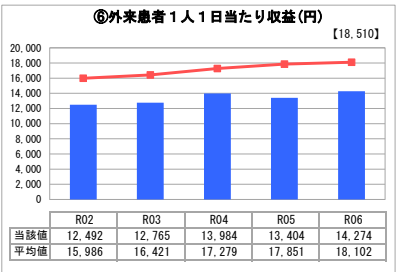
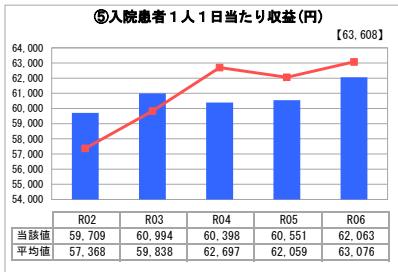
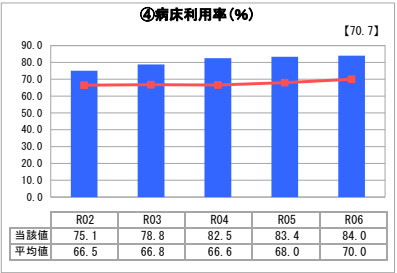
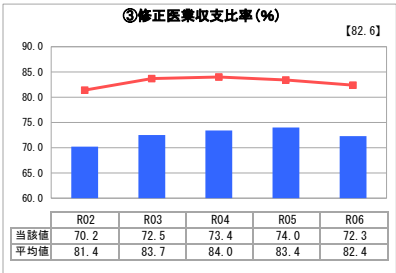
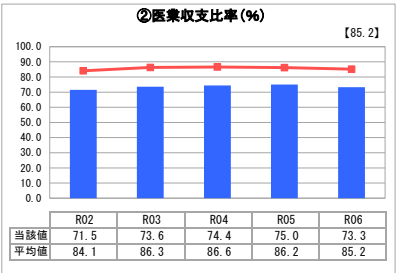
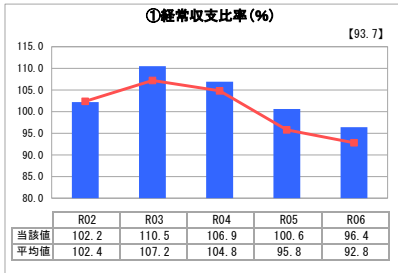
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
300	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	300
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
300	-	300

■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 （従来の役割・ネットワークを基に）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

政策的医療を含む脳血管疾患・運動器疾患に対する高度急性期・急性期から回復期までの一貫した医療機能を活かし、「脳卒中」「神経疾患」「脊椎脊髄疾患」「リハビリテーション」の専門病院として先進的な医療と臨床研究に取組んでいます。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

新規入院患者数は前年度を下回ったものの、入院・外来の診療単価の向上や手術件数の増等により入院収益は+1.6億円、外来収益は+0.3億円となりました。しかし、賃金水準の上昇や物価高騰などの影響により、給与費や材料費等の費用は4.6億円増加し、経常収支は3.3億円の赤字となりました。

例年、春から秋にかけて患者数が減少することから、一年間を通して安定した新規入院患者を受け入れられよう、地域の医療機関との連携強化に引き続き取り組みます。

また、脳卒中や神経疾患等に特化した専門病院であることから経営の難しさはあるものの、「②医業収支比率」と「③修正医業収支比率」の比較から一般会計からの繰入金が多く投入されていることが確認できるため、自立した経営の実現に向け取り組む必要がある。

2. 老朽化の状況について

平成11年開院の施設であり、建物等の設備についてしゅん工から20年以上が経過する中、老朽化の影響が少しずつ発生してきています。

今後は、適切な修繕計画に基づき、メンテナンスを行っていく必要があります。

全体総括

他の医療機関からの紹介や外来診療からの新規入院患者を増加させ、予定入院・予定手術の対象となる患者の割合を高めることで、医療収益の安定的な確保を図ります。

脳血管疾患を中心に「断らない救急」を徹底するとともに、各診療領域において専門医療を提供することで、引き続き市民の健康寿命延伸に貢献します。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和6年度決算）

神奈川県横浜市 みなと赤十字病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	自治体職員 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
指定管理者(利用料金制)	36	対象	ド 透 I 未 訓 ガ	救 臨 が 災 地
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
3,753,398	74,148	非該当	非該当	7 : 1

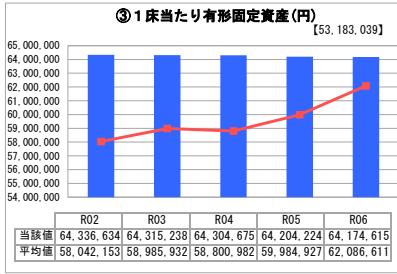
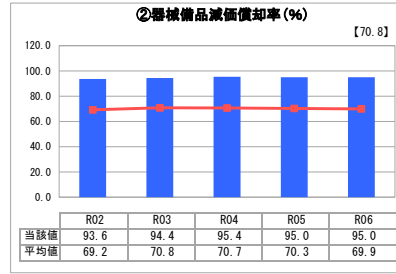
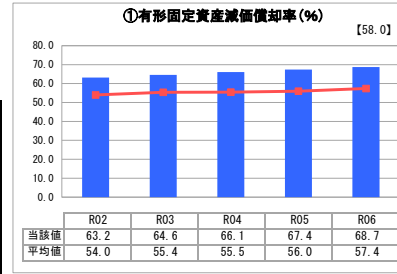
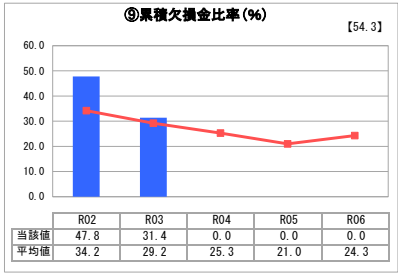
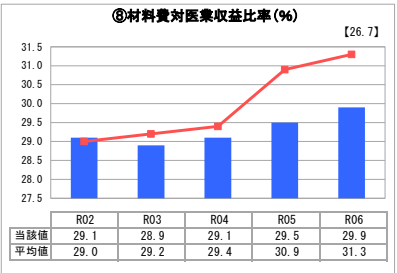
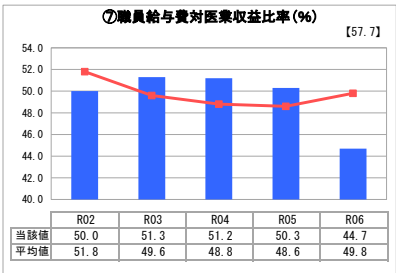
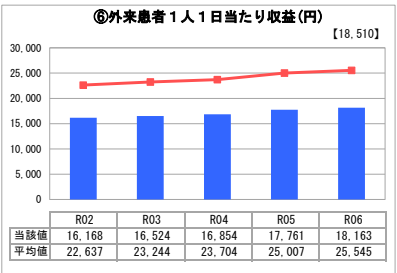
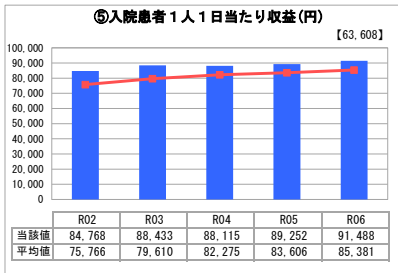
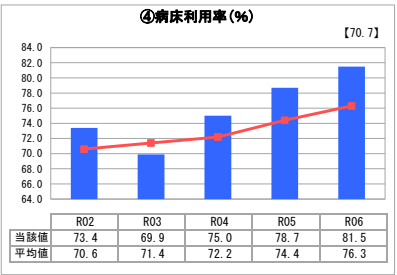
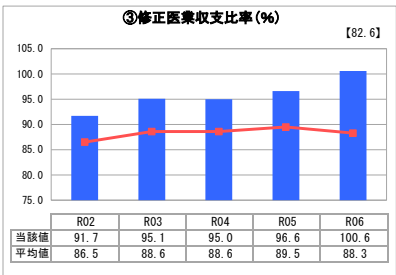
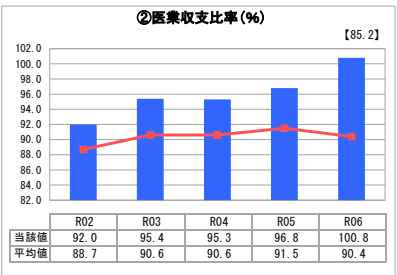
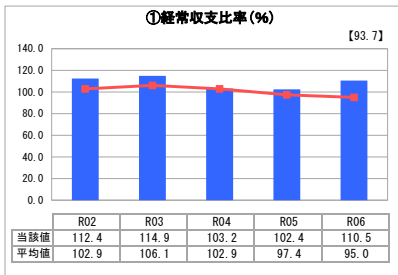
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 ヘ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
584	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
50	-	634
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
584	-	584

■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 （従来の役割・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度

I 地域において担っている役割

日本赤十字社を指定管理者とし、本市との協定に基づいて「救急」「精神科救急」「合併症医療」「アレルギー疾患」「災害時医療」などの政策的医療を安定的に提供しています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

賃金水準の上昇や物価高騰の影響もあり、厳しい経営状況でしたが、昨年度に引き続き経常黒字を確保しました。

※本経営指標は、指定管理者である日本赤十字社が運営するみなと赤十字病院にかかる決算と横浜市内病院事業会計を合算し、双方にかかる内部取引を相殺した数値を基に作成されています。

2. 老朽化の状況について

平成17年開院であり、適切な修繕計画に基づき、設備の更新等を実施していきます。

全体総括

全国トップクラスである、救急の受け入れの更なる強化や、循環器分野等における最先端の医療を提供するなど、経営改善の取組を進めることで経常黒字を維持します。引き続き、本市との協定に基づき、政策的医療を中心に質の高い医療を提供します。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。